

平成28年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立かみふくおか西デイサービスセンター	所管課	高齢福祉課
指定管理者名	いるま野農業協同組合	施設分類	保健・福祉施設
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成30年3月31日	利用料金制導入	利用料金制のみ
導入年月日	平成18年4月1日	指定回数	3回
施設設置目的	高齢者に対し、その心身の健康保持及び生活の安定のために必要なサービスを行うための施設として設置する。		
施設概要	【開設】平成12年4月1日 【延床面積】658.87㎡ 【主な施設】介護者教室、相談室、展示スペース、事務室		
管理運営の基本方針	(1)センターの設置目的である、高齢者に対し、その心身の健康保持及び生活の安定のために必要なサービスに寄与できるよう管理運営を行うこと。 (2)公の施設として、その利用に際して平等かつ公平な管理・運営を行うこととし、特定の団体等に有利あるいは不利になるような取扱いをしないこと。 (3)質の高いサービスの提供と効率的な業務の執行により、施設の特性を最大限活用できるよう、創意工夫に基づく効果的な管理運営を目指すこと。 (4)地域住民や利用者の意見・要望等を真摯に受け止め、利用者サービスの向上に努め、施設の利用促進を図ること。 (5)施設・設備の内容を十分に把握したうえで、すべての施設・設備を清潔かつその機能を正常に保持し、施設利用者に快適で安全な利用を供することができるよう適正な維持管理を行うこと。 (6)個人情報保護や各種法令遵守を徹底するほか、危機管理意識に基づく健全かつ安全な業務執行を図ること。 (7)管理運営費の節減に努めること。		
指定管理者の主な業務	通所介護(デイサービス)、介護予防通所介護 ※介護保険事業		

【評価項目】

【評価基準】 5: 目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合 / 4: 目標値以上の結果(5以外) / 3: 目標値に達している場合 / 2: 目標値をやや下回る場合 / 1: 目標値を大きく下回る場合

1 指定管理者の健全性

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか また、団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか	評価
特記事項 (問題等があった場合) 特になし	3

2 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定(計画・目標) 人	利用実績 人	対前年比	年度目標達成率	評価
	通所介護・予防介護	7032	7538	111.5%	107.2%	
合計	7032	7538	111.5%	107.2%		
(特記事項)通所介護・予防介護の区分計画はなく合計の計画・目標になっています。						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	(1)生活指導に関すること。 (2)機能訓練に関すること。 (3)介護サービスに関すること。 (4)介護方法の指導に関すること。 (5)健康状態の確認に関すること。 (6)送迎に関すること。 (7)給食に関すること。 (8)入浴に関すること。 (9)他に法に基づき厚生労働省令で定めるものに関すること。	予定通り実施出来た。			
自主事業	・自主的な取り組み 外部床屋による散髪 誕生日におこなわれる食事会 霞ヶ丘保育園及び西小学校との交流活動 音楽療法士により音楽療法の時間 書道教室(外部ボランティア)	新規ボランティア(ギター・エレキギター・鶴亀劇団等)の協力により、事業に新鮮さを出す事が出来た。また新規でプロの大道芸人を呼び楽しんでもらった。更にはJAらしきを出すため、毎月の昼食にメニューにJAフェアとして地元農産物を使用した食材を提供し、また季節を感じてもらうため、イチゴ狩りやブドウ狩り、芋ほりなどを自主事業として行った。				
サービス向上の取組	認知症の方への対応や研修会への参加を積極的に行った。					

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者へのアンケート調査の実施(別紙参考)	3
	(2) 調査、会議等の内容 ①調査 【実施時期】平成29年3月 【調査方法】施設利用者に対しアンケートを実施。43名から回答を得た。 【調査項目】食事・サービス・職員の対応等、施設を利用際に感じていることについて調査を実施した。 ②会議 所長・生活相談員・介護員・看護師合同の定例会議の実施	
	(3) 調査、会議等の結果 会議の内容をまとめ、実施出来るものはすぐに又改善点や気をつける点などは、全員が意識して取組むよう指示した。	
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 足の悪い方が機能改善や血液の流れを良くするというメドマを新規で購入し使用者から好評を得た。	3
	(2) 苦情・改善等の要望事項 機能訓練を行っているが、器具もマンネリ化し改善が見られないと言う方もいる。 《対応措置》 機能訓練の器具の検討や専門の機能訓練士によるアドバイスなどが検討課題(費用との問題も含め)	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成28年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	10,770,000	利用料金	10,666,052	歳入	施設使用料		施設使用料	
	指定管理料		指定管理料			行政財産使用料		行政財産使用料	
	自主事業※		自主事業※			国庫支出金		国庫支出金	
	その他収入		その他収入			県支出金		県支出金	
	通所報酬	47,030,000		46,471,138		その他		その他	
	その他			31,222					
	計	57,800,000	計	57,168,412		計	0	計	0
	支出	人件費	42,140,000			45,484,470	歳出	修繕料	
設備管理費		450,000	設備管理費	591,367	保険料			保険料	
備品購入費		60,000	備品購入費	151,154	指定管理料			指定管理料	
修繕費		1,950,000	修繕費	1,477,652	業務委託料			業務委託料	
光熱水費		2,920,000	光熱水費	3,606,718	土地・建物賃借料			土地・建物賃借料	
事業費		5,220,000	事業費	5,568,410	その他			その他	
事務経費		3,500,000	事務経費	4,595,737					
本社経費		0	本社経費	381,257					
その他		1,500,000	その他	566,345					
計		57,740,000	計	62,423,110	計	0		計	0
損益	60,000		△ 5,254,698	差引	0		0		
※自主事業は 該当箇所のみ 記載すること	自主 事業 ※		収入						
			支出						
		0	自主事業損益	0					
人件費比率【人件費/指定管理者事業支出】								72.9%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				本社経費については減価償却分を案分して計上					

5 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3
	配置実績 所長1名・生活相談員2名・看護師2名・介護員10名・運転手2名(常勤・非常勤含)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 施設の設置目的の達成に関する取組

区分	具体的な取組の状況・実績	評価
施設維持管理	定期清掃・エレベーター保守・電気設備保守・貯水槽保守・ボイラー保守点検・損害保険の加入	3
危機管理対策	消防設備の点検・保守 警備保障セコムの加入 事故発生時の対応・緊急連絡網及び対応マニュアルの整備	
サービス向上	利用者からの苦情や問題記録簿の設置	

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		保健・福祉施設
総合評価	指定管理者の健全性	3	D	<p>指定管理者の健全性</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>0</p> <p>施設の設置目的の達成</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p>	
	施設の有効活用	3			
	利用者評価	3			
	事業収支	2			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			
	施設の設置目的の達成	3			
	評価理由	<p>昨年度より利用者数が大幅に増加したが、支出も増加しており、収支状況が赤字になっている点が評価「D」となった。会議等を通して職員間の意志の疎通が図れており、その結果が事業の充実に繋がっていることから収支以外の総合評価は「C」と捉えている。</p>			
取組・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項		
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様、広報やホームページ等で周知、居宅介護支援事業所等へのPR活動を行い、その結果、利用者数が増加し、当初の計画人数を上回った。 ・施設の老朽化が進んでおり、市と連携・協議を進め迅速な施設改修が必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PR活動を継続して行った結果、前年対比11.5%の利用者増となった。 ・施設の老朽化に伴い、可能な限りの修繕を行い、施設の維持管理に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加算項目の検討、介護員の処遇改善交付金確保に努めるほか、引き続き利用者の拡大を図っていく。 		

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

定例会議を毎月開催し、新しい事業の提案や利用者個々の問題点や注意するところなどを全員で共有し、事故やトラブルなどをなくす努力をした。
新しい機能訓練器具の購入や利用者が使う生活消耗品などを積極的に購入した。

② 業務の効率化に対する取組

日々朝礼等でデイルーム内の業務に関する注意喚起を行い、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。また、ノー残業日や有給取得計画を設定し、労働環境の改善を図った。

③ その他

朝礼において交通安全心得の復唱を行い、交通事故の防止に努めた。

(2) 管理業務実施上の課題

施設の老朽化によりこまかい修繕費用が増えている。ボイラーは29年度に交換予定だが、厨房・給水塔・エレベーターなども交換時期がきている。今後、その他の細かい修繕費用が増えると予想している。

(3) 次年度以降の取組

加算項目の検討、介護員への処遇改善交付金アップの対応の他、利用者の更なる拡大等に努力していく。